

気体採取器 GV-100/GV-110 のメンテナンス方法

気体採取器(GV-100/GV-110)は、空気漏れが無ければ吸引量が 100 mL±5%になるように設計されています。しかし気体採取器に漏れがあると指示値が低くなります。気体採取器の漏れの主な原因と対策は以下のようになります。

漏れの原因箇所	原因	対策
入口ナット	締め忘れによるゆるみ	締め付ける
インレットゴム	損傷または劣化	インレットゴムを交換する
シリンダピストン	グリスの汚れまたはグリス切れ	グリスアップをする

詳細は、気体採取器 GV-100/GV-110 の取扱説明書をご覧ください。

【取扱説明書 PDF ファイル】 https://www.gastec.co.jp/files/user/asset/pdf/GV_100_instructionmanual.pdf

なお、上記の対策を行っても気体採取器に漏れがある場合は、以下の「気体採取器のピストンクリーニング」をお試しください。

■気体採取器のピストンクリーニングの方法

1. ピストンの形状の確認

気体採取器のテールブロックを左に回し、シリンダからピストンを外します。

ピストンの形状を確認してください。

	
A. ピストンの形状が左の写真の場合 お客様ではピストンのクリーニングはできません。 販売店に修理を依頼してください。	B. ピストンの形状が右の写真の場合 以下に従って、クリーニングを実施してください。

2. ピストンのクリーニング方法

- ①気体採取器のハンドルを持ち、コイン等でピストン先端の固定ねじを外します。



②固定ねじ、ピストン、フランジを取り外します。



③ピストンの中央の穴の内側を柔らかい布か紙でふき取ります。
この時、穴の開いた突起部に傷をつけないように注意してください。

ピストンの中央の穴の内側をふき取る



④ハンドルの軸(銀色の部分)を柔らかい布か紙でふき取ります。

⑤フランジをハンドルの軸に取り付けます。

●GV-100 の場合

フランジの突起とハンドルの軸のそばの溝が合うようにフランジを取り付けます。
大きい溝と小さい溝がありますが、小さい方の溝に合わせます。

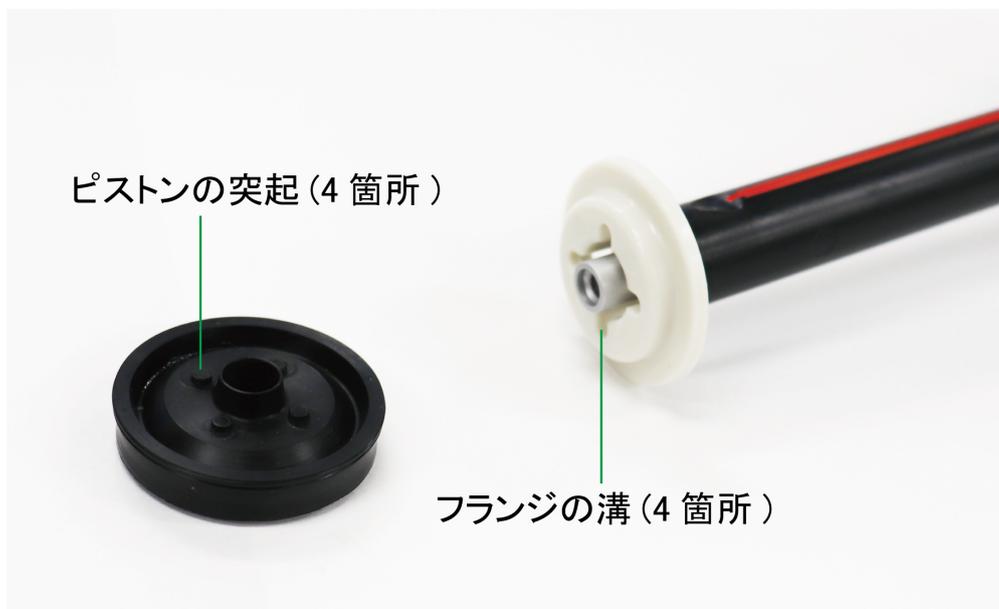


●GV-110 の場合

フランジの突起とハンドルの軸のそばの溝が合うようにフランジを取り付けます。



⑥フランジの4箇所（溝）にピストンの4箇所（突起）が合うように、ピストンを取り付けます。
この時、ピストンの穴の開いた突起部がめくれないように注意します。



<正しい取り付け方法>



<誤った取り付け方法（突起部がめくれている）>



⑦コイン等でピストン先端の固定ねじを取り付けます。



⑧気体採取器の気密性の点検を行い、気密性が良好であることを確認します。

*ピストンのクリーニングを実施しても、漏れが止まらない場合は、販売店に修理を依頼してください。